

No.257
平成5年
(1993)
9月3日

9月号

富津市民素养

◎恵まれた自然を生かし、美しいまちをつくりましょう。
◎友愛と感謝の気持ちで、明るいまちをつくりましょう。
◎どよりやこどもを大切にし、幸せなまちをつくりましょう。
◎健やか仕事に勤め、豊かなまちをつくりましょう。
◎教育を高め、文化の香り高いまちをつくりましょう。

市の人口	
(8月1日現在)	(前月比)
世帯 15,961	(+14)
人口 55,039	(+36)
男 27,525	(+20)
女 27,514	(+16)

平和都市宣言—富津市— 平成2年12月1日宣言

編集発行 富津市役所企画課 電話(0439)80-1225

〒299-12 千葉県富津市下飯野2443番地

◎「おばあさんがよい話し相手なんですよ」と竹治郎さん
原田竹治郎さん(91歳)
そよさん(92歳)
竹岡



日本人の平均寿命は、女性が82・22歳、男性が76・09歳と、男女ともに、世界最長寿を保ち、現代は、まさに人生80年時代といえます。市内では現在、90歳以上の方が254人、このうち97歳以上の方方が16人いらっしゃいます。最高年齢は105歳の小熊みつさん(障子谷)です。みつさんは、ほとんど外出しませんが、居間に置かれた椅子に腰かけ、外をながめたり、テレビを見たりの毎日です。3度の食事は、家族といっしょに、何でも呑みながら食べるそうです。好き嫌いなく食事をすることも長寿の秘訣かもしれません。

今月は、ご夫婦そろってめでたく結婚70周年を迎えた方がたを紹介します。

原田周治郎・千代さん(青木)、砂野留五郎・せんさん(八幡)、綾部精一・トクさん(花輪)、白石猪松・ちかさん(篠部)、原田竹治郎・そよさん(竹岡)青木の5組です。

◎「毎日梅干しを一つは食べていいですよ」と、もど漁師だといふ周治郎さん。

原田周治郎さん(91歳)
千代さん(90歳)
竹岡

—市内最高の年輪に感服— ご夫婦の年輪に感服

◎「気がついたらこんな年になってしまった」と白石さんご夫婦。

白石猪松さん(92歳)
ちかさん(91歳)
篠部



綾部さんご夫婦は、10月号でご紹介します。

◎「毎日の2人の食事は私が、おじいさんはお風呂の当番です」と、せんさん。

砂野留五郎さん(96歳)
せんさん(90歳)
八幡



富津市は観光のまちです。夏には海水浴場、ジャンボアーチ、キャンプ場等がオープンし、子どもや若者、家族連れで大いにぎわいます。しかし今年は梅雨明けが遅く長雨にたたられ、夏というのに気温は上がり、夏の大関係の方が大打撃を受けてしましました。

計画の中にとして恒例になっている花火大会、富津観光まつり、湊川灯籠流し、富津ふるさとまつり、また各地での夏祭り、盆踊り等、天気を心配しながらも行われ、市民や観光客のみなさんも染み、さらには親睦の輪を深めることができました。特に8月14日に行われた湊川灯籠流しは、平成元年灾害の河川改修と併せて親水公園が整備されたのを

花火大会が行なわれ夜空に約4

機会に、関係者の努力により5年ぶりに復活。盆踊りや横須賀市と結ぶ湾口道路実現の願いをこめて、第31回の花火大会が行なわれ夜空に約4

—97歳以上の方は16人—

◎105歳 小熊みつさん(障子谷)
◎102歳 今津志んさん(富津)
◎101歳 富津立石きくさん(青木)
◎100歳 宮川ちよさん(青木)
◎100歳 木田あけさん(富津)

◎98歳 木田たかさん(富津)
◎97歳 佐野つねさん(花谷)
◎97歳 鈴木みささん(西大和)
◎97歳 能登治さん(障子谷)
◎97歳 井瀬けうさん(新井)

◎105歳 小熊みつさん(障子谷)
◎102歳 今津志んさん(富津)
◎101歳 富津立石きくさん(青木)
◎100歳 宮川ちよさん(青木)
◎100歳 木田あけさん(富津)

◎98歳 座間能太郎さん(間家)
◎97歳 山田源藏さん(佐貫)
◎97歳 藤平よしさん(竹岡)
◎97歳 浅倉鉄之助さん(佐貫)
◎97歳 佐野つねさん(花谷)
◎97歳 鈴木みささん(西大和)
◎97歳 能登治さん(障子谷)
◎97歳 井瀬けうさん(新井)



お元気ですか
黒坂です ④

東京湾口道路建設を促進しよう(富津市議員連盟)

ふるさとふつつ "夏の風物詩"

例年になく雨の日が多く、何かも足りなかつた今年の夏でしたが、恒例のイベントが各地でくりひろげられました。わがふるさとふつつ夏の風物詩を紹介します。

幻想的な光に 時を忘れて

平成元年7月31日から8月1日かけての集中豪雨で記らんした湊川の護岸工事は、現在もすすめられていますが、このほど、神田橋親水公園の完成にともない、8月14日、5年ぶりに湊川灯籠流しが行われました。

天候でしたが、親水公園のオーブン式典が行われた後、灯籠流しや、盆踊り、上総湊海岸での花火の打ち上げなどで盛り上りました。とくに、5年ぶりの灯籠流しには、大人から子どもまで参加し、しばらくの間は、川面の幻想的な光に忘れていました。



子どもたちの交流の輪が広がりよーだ

よろこびの藤原さん(中央)
莊司さん(右)渡辺さん(左)

姉妹都市富山市と富津市の友好を深めるための児童交流事業は今年で6回目を迎えます。今年は富津市からは7月28日から30日まで塩山市へ、8月4日から6日は塩山市からと

それぞれ児童の交流がありました。
④湊川を下る色とりどりの灯籠

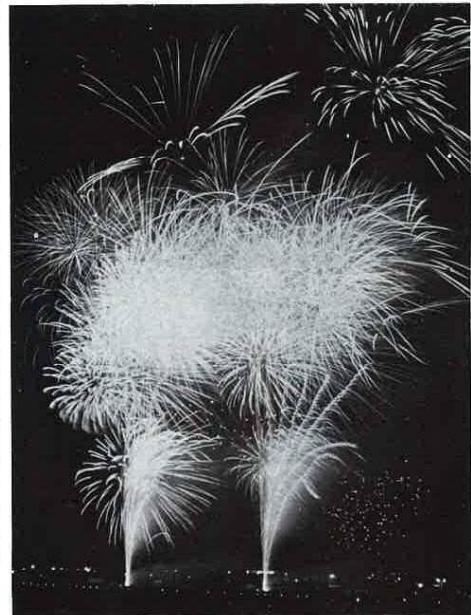
⑤天神山小学校の児童との交歓会

熱氣あふれる ふるさとまつり

J.R青堀駅前通りをメインストリートに、ふるさとまつりが8月16日に行われました。

これは、地元商工会の方がたが中心になり、大きく広げようふるさとの輪。をスローガンに毎年行われるものです。

鼓笛隊パレード、ミスふるさとまつりコンテストが行われ、おまつりの最後には、それぞれの企業のグループ、子ども会などがくり出して、盆踊り大会が行われ熱気あふれるおまつりになりました。



夜空を彩る
富津花火大会
が7月31日に
行われ、約18
万人の人び
打ち上げられ、今年はとくに、

とが光の義演を満喫しました。
東京湾口道路の早期実現の
願いを込めたこの大会は尺玉や
スター・マイン約400発が
打ち上げられ、今年はとくに、

レーザー光線で 一層華やかに

レーザー光線も加わってより
一層華やかになりました。
「富津市の花火は、近くで見
れることと、打上げの音が身
近かに感じられ、花火好きの
人にはこなえられない」との
評判です。

夜空を彩るスター・
マインの打上げ

ミスゆかたには藤原さんが



8月7日・8日
の両日、富津公園
で富津観光まつり
が行われました。

初日は、市内幼
稚園児の鼓笛隊の
演奏、太鼓の選演
カラオケ大会を行
われ、二日目は、

ミスふるさとコンテストが行
われました。

みごとミスゆかたの栄冠を
勝ちとったのは、藤原かおり
さん(二間塚)、準ミスには莊
司真裕未さん(富津)と渡辺
裕子さん(萩生)が選ばれま
した。

またほかには、地元小学生
さん(富津小3)△市議会議
長賞「さかなづりセット」手
塚めぐみさん(青堀小2)
△教育長賞「チープル」幾野
恵子さん(富津小6)△観光
協会長賞「ふね」原晶(君
(富津小1))

踊りの輪が広がりおまつり
は熱気があふれました。



